



読み切り文学講座

活字離れが進む中、じっくりと一冊の書物と向き合う時間を持つことも難しくなりました。書物に親しみ、文学の魅力に触れ、改めて文字やことばの持つちから、読書の醍醐味を思い起こしてみませんか。今回は、「原作と脚色（翻訳や翻案、舞台化や映像化）」をテーマに、日本・中国・英国の代表作を取り上げ、作品の受け取り方を考えます。

	開催日	テーマ・講座内容	講師
第1回	平成24年 10月25日(木) 10:30~	<p>テーマ：『平家物語』と能</p> <p>『平家物語』と、物語に登場して悲劇的な死を遂げた武者たちを主人公とした世阿弥作の能，《頼政》《実盛》《忠度》《敦盛》《清経》を取り上げます。物語で語られるそれぞれの死とその経緯が、能ではそのまま用いられているわけではありません。両者の違いを読み解き、それぞれの魅力を探ります。</p>	国際文化学科 教授 樹下文隆
第2回	平成24年 11月29日(木) 10:30~	<p>テーマ：中国小説『水滸伝』と江戸読本『八犬伝』</p> <p>中国の小説を読む上での決まり事を長編小説『水滸伝』の特徴から探り、さらにその影響を受けて創作された江戸読本の代表作『八犬伝』の特徴と比較して考えます。原作の醍醐味と翻案の工夫を一度に味わってみましょう。</p>	国際文化学科 教授 丸山浩明
第3回	平成24年 12月20日(木) 10:30~	<p>テーマ：二つの『アリス』物語りの映画化について</p> <p>オックスフォード大学の数学講師ルイス・キャロルが書いた『不思議の国のアリス』と『鏡の国のアリス』は十九世紀後半の出版以来何度となく映画化されてきました。言葉遊びや論理の逆転といったナンセンスを特徴とする原作を映画はどのように表現してきたのかを検証し、文学とその映画化の問題を考えます。</p>	国際文化学科 准教授 吉本和弘



場所：南区民文化センター 大会議室A

対象：高校生以上

定員：各50名（定員になり次第締切）

受講料：無料

申込：10月2日(火)9:00より南区図書館へ 電話(082-251-1080)か来館で

主催：広島市立南区図書館・県立広島大学地域連携センター

● 休館日 ●

10月1日(月)9日(火)15日(月)22日(月)29日(月)

11月5日(月)6日(火)12日(月)

15日(木)~21日(水) 特別整理期間

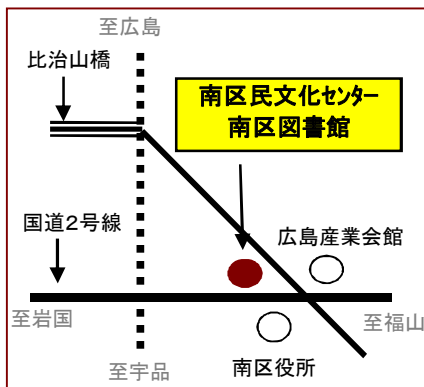
19日(月)26日(月)27日(火)30日(金)

12月3日(月)10日(月)17日(月)25日(火)29日(土)~31日(月)

● 開館時間 ●

火~金曜日は 9時から19時まで

土・日曜日と祝日は 9時から17時まで



事前に読んでいなくても大丈夫！
講座を受けて、ぜひ読んでください。

【申し込み・問い合わせ先】
(財)広島市未来都市創造財団

南区図書館

南区比治山本町16-27

(082)251-1080